

# ジョブコーチ支援のご案内



## ジョブコーチ支援とは

- 定期的に職場訪問し、「障害のある本人」と「職場の社員・スタッフ」に対して、“仕事や職場に慣れる方法”や“雇用管理の方法”を具体的にアドバイスします。
- “職場として支援・指導できる状態”

= (ナチュラルサポート) を目指します。



## ジョブコーチ支援の内容

- 本人、企業のニーズに合わせたオーダーメイド型サービスです。
  - 課題や適応状況に合わせて、支援期間、訪問頻度、支援内容等をご提案します。
- ※支援期間は標準2~4か月 最大8か月となっています。

(本人)  
「作業が覚えられない」  
「ミスがでる」  
「ペースがつかめない」  
等

(企業)  
「教えても習熟しない」  
「指導方法に悩む」  
「任せる職務が分からない」  
等

作業場面介入型

- 集中的に企業を訪問し、本人の作業遂行の状況や職場環境について確認します。
- 本人に適した仕事のやり方や指導の仕方等について、本人と企業に助言・援助を行います。
- 工作上必要なコミュニケーションに関する助言・援助を場面に応じて行います。

<訪問頻度> 当初は週2~3日程度

(本人)  
「コミュニケーションが不安」  
「仕事と健康の両立をしたい」  
等

(企業)  
「心身の安定に努めてほしい」  
「職場で必要な配慮を知りたい」  
等

相談支援中心型

- 本人や企業との相談支援を中心に行い、本人と企業のコミュニケーションを円滑にしていきます。
- 本人に対しては疲労やストレスのセルフケアに関する助言、企業に対しては職場内のラインケアに関する助言を行います。

<訪問頻度> 月1~4回程度

作業場面介入型 ←→ 相談支援中心型の組合せもできます。

(企業担当者)  
「作業指導をしているが、なかなか上手いこない」  
「障害特性が上手く掴めない」  
「各種研修は受けたが実務に不安」等

協同支援型

- 本人に対して、企業担当者とジョブコーチが協同で職場適応支援を行うことで、企業担当者のサポート力の向上を目指します。
- 企業担当者の取組(本人への支援、企業内の調整等)をジョブコーチがフォローするイメージです。

※ 例えば、作業指導の方法、支援ツールの作成、本人との面談方法、職務の選定、ラインケアの方法等

<訪問頻度> 月1~4回程度

企業内

ジョブコーチ

指導

職業生活相

担当者

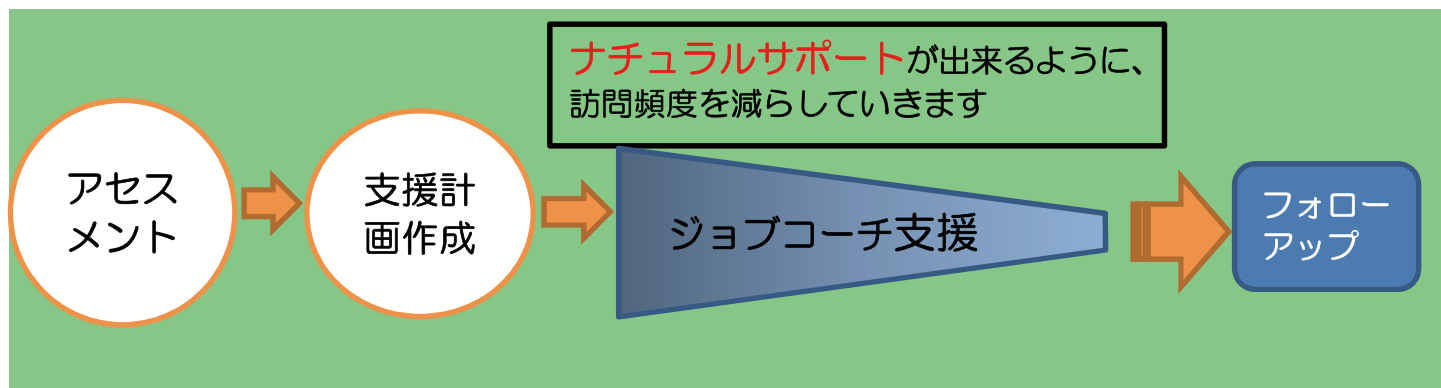
職員

etc.



## ジョブコーチ支援の流れ

- ① 本人、企業（職場）、支援機関、どなたからでもご依頼いただけます。
- ② 企業担当者との相談打合せ、本人の利用者登録
- ③ 現場での支援（アセスメント→支援計画の策定→支援→フォローアップ）



通常、障害者職業カウンセラーが全体の調整や支援計画策定などを行い、ジョブコーチが複数名交互に職場訪問して支援する体制をとります。

ジョブコーチ支援に加え、体系的な企業支援を計画することが可能です。

ジョブコーチ  
支援



一般社員  
向け研修

他社事例  
の紹介

職務設計の  
助言

etc.



## 利用にあたって

- 採用時、在職中、職場復帰のタイミングで利用できます。
- 支援期間やフォローアップ期間は個別に相談をします。
- 障害者トライアル雇用中の利用が可能です。
- 体験実習及び委託訓練中の利用はできません。
- 公的サービスのため費用は無料です。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岡山支部

岡山障害者職業センター

〒700-0821 岡山市北区中山下1-8-45 GEEKS OKAYAMA 17F  
URL <http://www.jeed.or.jp/location/chiiki/okayama/>

TEL(086)235-0830

FAX(086)235-0831

受付時間 8:45~17:00  
(平日 月~金)